



配達地域指定

とみの和憲県政レポート

とみの通信 第1号

2023年8月発行



香川県議会議員としての任期が4月30日から

スタートしました。

◆◆ ご挨拶 ◆◆

皆様には平素より大変お世話になり、誠にありがとうございます。香川県議会議員の富野和憲です。

今春の香川県議会議員選挙では7,239票もの多くのご支援をお預かりし、お陰様で4月30日から香川県議会議員として1期目の任期をスタートさせて頂きました。その責任の重さを実感しながら、日々を過ごしております。その上で、皆様からお預かりいたしました香川県議会での議席を地域のため、皆のために活かしていく所存です。

「香川でいちばん身近な議員へ。」「信頼される政治を香川県議会に取り戻す。」

この2つは皆様に訴えさせて頂き、お約束した事。私自身、小さな力ですが、しっかりと真剣に取り組んで参ります。

さらに、「ふるさとの声を聴く。つなぐ。届ける。」この原点を今後も忘れません。「地域廻り」などをする中、多種多様なお声をしっかりとお聴きし、そのお声を「県民の声」「地域の声」として政治の場につなぎ、届けて参ります。

今後とも厳しくも温かいご指導ご鞭撻の程、何卒よろしく願いいたします。

香川県議会議員 富野 和憲



所属委員会

【常任委員会】 文教厚生委員会

教育委員会、健康福祉部、病院局に関する事項を所管します。

【特別委員会】 少子化対策特別委員会

子育て県かがわ少子化対策推進条例を踏まえた少子化対策を推進するために必要な事項を調査検討するために設置されています。



所属会派

【会派名】 立憲・市民派ネット

【所属議員】
会 長：森 裕行議員 (三豊市)
幹 事 長：米田晴彦議員 (丸亀市)
副幹事長：植田真紀議員 (高松市)
政調会長：富野和憲 (高松市)

今春の改選に伴い、立憲民主党所属議員3名と無所属議員1名で新たに共同会派を結成しました。

多様性を認め合いながら、県民の皆様
の肌感覚により身近な会派であり
続けたいと思っております。



事務所など

【とみの和憲事務所 (自宅)】

〒761-8043 高松市中間町598番地1
携 帯：090-3461-3219
T E L：087-885-0370
F A X：087-816-8231
メール：kaz.tomino@gmail.com
HP : http://tomino.online/

【県議会議員控室】

〒760-8570
高松市番町4丁目1番10号
(香川県議会議事堂3階「立憲・市民派ネット」)
T E L：087-832-3674
F A X：087-831-4193



生活される中、不安に感じる事、お困りごと、
地域課題などがありましたら、どうぞご遠慮
なく、お気軽にお知らせください。

◆ 文教厚生委員会(6月28日、29日)で質問。

質問項目は下記のとおりです。

1. 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について
2. 1型糖尿病の患者支援について
3. グリーフケアについて
4. 子育てを応援する制度について
5. 香川県立アリーナの設計変更に対する陳情について
6. 特別支援学校とインクルーシブ教育について
7. 学校トイレの洋式化について

【インクルーシブ教育】

(富野の問い)

障がいのある子ども障がいのない子ども同じ場所で教育を受けるインクルーシブ教育こそがベストであるとの見解を持っている。本県ではクルーシブ教育をどのように定義しているのか。また、本来のインクルーシブ教育に近づけるよう、どのような施策を行っているのか。

(教育長答弁)

インクルーシブ教育については、障害者の権利に関する条約における定義や文部科学省からの通知等を踏まえ「障がいのある子ども一人ひとりのその時点での教育的ニーズに最も確に定める指導を提供することにより、その能力や可能性を最大限伸ばし、自立と社会参加を目指すという目的の下、障がいのある子どもと障がいのない子どもが可能な限り同じ場で共に学ぶ教育」であると考えている。重要なのは、「それぞれの子どもが授業内容を理解し、学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けているかどうか」という視点。通常の学級での合理的配慮の提供を前提とする学級経営や授業づくりなど、障がいのある子どもと障がいのない子どもが可能な限り共に学ぶことができるよう条件整備に努めている。

また、通常の学級での学習に概ね参加できるものの一部特別な指導を必要とする子どもの学びの場である通級指導教室や、障がいによる学習上の困難のために、一斉での学習活動が困難で、障がいに応じた特別の指導を相当数、系統的かつ継続的に行う必要のある子どものための学びの場である特別支援学級や特別支援学校など、その時点の子どもたちの教育的ニーズに的確に定める指導を提供することができる学びの場の一層の充実・整備を着実に進めるとともに、障がいの状態や教育的ニーズの変化に応じて、柔軟に学びの場を変更できるような環境整備にも努めていく。

なお、障がいのある子どもの学びの場の決定については、本人及び保護者の意見を最大限尊重しつつ、対象となる子ども一人ひとりの、その時点の教育的ニーズと必要な支援の内容を踏まえていることについて、本人及び保護者、学校等に対して十分な説明と合意形成を図ることが重要であると考えている。

【学校トイレの洋式化】

(富野の問い)

学校での良好な学習環境を整える上でも、また、万が一避難所となった場合での良好な衛生環境・居住環境を整える上でも、学校施設での和式トイレから洋式トイレへの更新が必要であると考える。学校トイレの洋式化の現状を伺いたい。

(教育長答弁)

「香川県教育基本計画」では、県立学校におけるトイレの洋式化の指標として、県立中学・高校については65%、特別支援学校については85%を令和7年度の目標値としている。

このうち、県立中学・高校のトイレについては、令和3年10月

の洋式化率が60.6%、令和3年度末には62.5%、令和4年度末には63.5%と、着実に増加している。ただ、学校ごとに見ると、ばらつきがあり、洋式化率が最も高い高校が97.6%であるのに対し、最も低い高校は25.4%となっている。

(富野の問い)

学校トイレの洋式化について、今後の考えを伺いたい。

(教育長答弁)

引き続き学校施設の新築・改築、大規模改修などにあわせて着実にトイレの洋式化を進めていきたいと考えている。また、高等学校については、環境整備事業を活用して洋式化率の低い学校のトイレ改修にも積極的に取り組み、全ての学校が「香川県教育基本計画」に掲げた令和7年度の洋式化率の目標である65%を達成できるよう取り組んでいきたい。

【香川県立アリーナの設計変更】

(富野の問い)

今回提出された「香川県立アリーナの設計変更に対する陳情」が採択されれば、建設工事費が予定の190億円を上回る事も予想され、さらにオープン時期も当初の再来年令和7年(2025年)3月からずれ込む可能性もあり、この陳情に対して会派として怪訝な思いを持っている事を表明する。それは指定管理に手を挙げ、選定を受けた指定管理者の候補事業者が、後出しジャンケンのように後から条件に異議を唱えているような事になっているからである。今回の陳情に対する県当局の現時点での考えをまとめてお示し頂きたい。



県立アリーナ建設現場視察

(教育長答弁)

議会に提出された陳情であるので、私の方から特に答弁することは難しいと思っている。

お答えできる範囲ではあるが、指定管理者候補者との間では、これまでも運用の面における心配事なども含めて意見交換をしている。そういった意見交換の中で、風の話や照明の話もいただいている。その件については、当事者同士の対等な立場での意見交換について誠実に対応するという意味で、今まさに、専門的な見地から検討を進めている状況である。もし、設計変更が必要と判断されたらという質問もあったが、仮定の質問についてはお答えするのは差し控えてさせていただきたい。

◆ ブラジル等への議員派遣について反対。

6月定例会で、議員8名をブラジル連邦共和国、パラグアイ共和国、アメリカ合衆国の3か国に派遣する事が決定されました。地方都市同士の外交や交流は大切であると思っておりますが、その一方で、県議会から訪問団を組んでまで訪問することについては疑問に思っています。また、往復ビジネスクラス利用で、宿泊も1泊約6万円の部屋を利用するなど、派遣費用も高額です。

そこで、富野は今回の議員派遣について「反対」しました。

プロフィール

昭和46年(1971年)12月29日 高松市中間町生まれ(51歳)
檀紙幼~檀紙小~香東中~大手前高松高~立命館大学法学部
平成7年(1995年) 高松市役所入庁(納税課・市民課・人事課)
平成19年(2007年) 高松市役所退職し、国会議員秘書に
平成27年(2015年) 高松市議会議員選挙で初当選(2期)
令和5年(2023年) 香川県議会議員選挙で当選